学校番号	3036

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	総合英語Ⅱ	4	第２学年	啓林館「ELEMENT English Communication Ⅱ 」 数研出版「Write to the Point」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

総合英語Ⅱの授業は、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業です。聞いたり読んだりした内容について、情報や考えなどを話したり書いたりする言語活動を多く行います。大学入試にも対応でき、将来にも役立つ英語力をつけるためには、４技能５領域を総合的に学ぶことが大切です。積極的に活動に取り組みましょう！

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	①自然な速さで話される様々な分野のスピーチを聞いて、話者の意図や訴えたい事を把握することができる。	①必要に応じて読む速度や読み方を変えて、正確に英文を読むことができる。 ②書き手の意図や目的を的確に理解することができる。 ③構文を理解しながら日本語に訳すことができる。	①英文を読み、また話された英文を聞いて、その概要を簡単に話すことができる。 ②自分の考えについて相手に説明したり、相手の考えに対して質問したりするなど、意見交換をすることができる。	①説得力のある賛成反対意見を述べることができる。 ②複雑なトピックに関して、即興でスピーチできる。	①英文を読み、また話された英文を聞いて、その概要を簡潔に書くことができる。 ②複数の段落で、序論・本論・結論を意識して、論理的な文章を書くことができる。 ③与えられた日本語を英語に訳す際に、必要な文法事項に気づき使用することができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・英語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	ELEMENT Lesson 1 “Cultures around the World” Lesson 2 “Power of Words” Scene 1,2	聞くこと	a: 身近な事柄（文化の違い）や社会的な事柄（生き方など）に関する説明で使われる表現を理解している。 b: 身近な事柄（文化の違い）や社会的な事柄（生き方など）に関する説明を聞き、必要な情報を聞き取っている。 c: 身近な事柄（文化の違い）や社会的な事柄（生き方など）に関する説明を聞き、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 授業内活動 小テスト 提出物
		読むこと	a: 英語の構文、複合関係代名詞の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 身近な事柄（文化の違い）や社会的な事柄（生き方など）に関する英語で書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 c: 身近な事柄（文化の違い）や社会的な事柄（生き方など）に関する英語で書かれた文章を読んで、概要を捉えようとしている。	
		話すこと （発表）	a: 対比や時系列を表す語句などの意味や働きを理解している。 b: 身近な事柄（文化の違い）や社会的な事柄（生き方など）に関する英語で書かれた文章を読み、その内容について基本的な語句や文を用いて話している。 c: 身近な事柄（文化の違い）や社会的な事柄（生き方など）に関する英語で書かれた文章を読み、その内容について基本的な語句や文を用いて話そうとしている。	
	Write to the Point 1章-3章	書くこと	a: 目標となる文法事項等(※)に関する知識を身につけている。 b: 目標となる文法事項等(※)に関する表現を用いている。 c: 目標となる文法事項等(※)に関する表現を用いようとしている。 以下、(※) 主語の決定①（〜が少ない、増えているなど） 主語の決定②（一般論の主語、主語の選定など） 目的の表現　（〜するために、〜しないように） および、既習の文法事項や語彙、語法の確認	
	中間考査			
	ELEMENT Lesson 2 “Power of Words” Scene 3,4 Lesson 3 “Preconception”	聞くこと	a: 社会的な話題（ジェンダー等）に関する説明で使われる表現を理解している。 b: 社会的な話題（ジェンダー等）に関する説明を聞き、要点を理解している。 c: 社会的な話題（ジェンダー等）に関する説明を聞き、要点を理解しようとしている。	定期考査 授業内活動 小テスト 提出物
		読むこと	a: be 動詞＋to 不定詞、付帯状況、比較を用いた構文の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 社会的な話題（ジェンダー等）に関して書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 c: 社会的な話題（ジェンダー等）に関して書かれた文章を読んで、概要を捉えようとしている。	
		話すこと （やり取り）	a: 相手の意見に賛成したり反対したりする表現を理解している。 b: 社会的な話題（ジェンダー等）について、簡単な語句や文を用いて意見を伝えあっている。 c: 社会的な話題（ジェンダー等）について、簡単な語句や文を用いて意見を伝えあおうとしている。	
	Write to the Point 4章-7章	書くこと	a: 目標となる文法事項等(※)に関する知識を身につけている。 b: 目標となる文法事項等(※)に関する表現を用いている。 c: 目標となる文法事項等(※)に関する表現を用いようとしている。 以下、(※) 理由の表現（〜のために、〜のおかげで） 時制（現在完了、過去形） 時制（未来のことか、過去のことか） 動詞の語法（SVOC） および時制全般と文型全般の確認	
	期末考査			
2学期	ELEMENT Communication	聞くこと	a: 戦争・平和や身近な人物に関する説明で使われる表現を理解している。	定期考査 授業内活動

	in Practice 1 Lesson 4 “The Century of War” Lesson 5 “How Our Minds Work”		b: 戦争・平和や身近な人物に関する説明を聞き、要点を理解している。 c: 戦争・平和や身近な人物に関する説明を聞き、要点を理解しようとしている。	小テスト 提出物
		読むこと	a: 分詞構文、完了形の受動態、強調構文、助動詞＋have＋過去分詞の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: ウェブサイトや物語文を読んで、必要な情報を読み取ったり、登場人物の心情をおさえたりして、概要を捉えている。 c: ウェブサイトや物語文を読んで、必要な情報を読み取ったり、登場人物の心情をおさえたりして、概要を捉えようとしている。	
		話すこと （やり取り）	a: ウェブサイトの情報について話したり、グラフや図表を説明したりする際に使う表現を理解している。 b: ウェブサイトの情報について話したり、グラフや図表を説明したりする際に、簡単な語句や文を用いてやり取りを続けている。 c: ウェブサイトの情報について話したり、グラフや図表を説明したりする際に、簡単な語句や文を用いてやり取りを続けようとしている。	
	Write to the Point 8 章-10 章	書くこと	a: 目標となる文法事項等(※)に関する知識を身につけている。 b: 目標となる文法事項等(※)に関する表現を用いている。 c: 目標となる文法事項等(※)に関する表現を用いようとしている。 以下、(※) 関係詞（関係代名詞、関係副詞、what） 時間の表現（「～ぶりで」「～たてば」など） 数字の表現（「何千もの～」「30 代」「３分の１」など） および、その他の重要表現の確認	
	中間考査			
	ELEMENT Lesson 6 “IT and Life” Lesson 7 “Advances in Medical Technology”	聞くこと	a: アナウンスに関する英文で使われる表現を理解している。 b: アナウンスを聞き、要点を理解している。 c: アナウンスを聞き、要点を理解しようとしている。	定期考査 授業内活動 小テスト 提出物
		読むこと	a: 倒置、関係副詞の非制限用法、同格の that、未来進行形の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 身近な事柄（IT の発展）や社会的な事柄（医療技術の進歩と発展）について書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 c: 身近な事柄（IT の発展）や社会的な事柄（医療技術の進歩と発展）ついて書かれた文章を読んで、概要を捉えようとしている。	
		話すこと （発表）	a: 身の回りの IT 機器や医療に関して話すときに使われる表現を理解している。 b: IT の発展や医療技術の進歩と発展についての英文を読み，その内容について必要な語句や文を用いて話している。 c: IT の発展や医療技術の進歩と発展についての英文を読み，その内容について必要な語句や文を用いて話そうとしている。	
	Write to the Point 11 章-14 章	書くこと	a: 目標となる文法事項等(※)に関する知識を身につけている。 b: 目標となる文法事項等(※)に関する表現を用いている。 c: 目標となる文法事項等(※)に関する表現を用いようとしている。 以下、(※) 仮定・条件の基本（現実か仮定か） 仮定・条件の応用（様々な表現） 比較の基本（何と何を比較するのか） 比較の応用（様々な表現） および仮定法・比較分野の熟語・構文の確認	
	期末考査			
3 学期	ELEMENT Communication in Practice 2 Lesson 8 “A Tiny Step, a Big Impact” Communication in Practice 3	聞くこと	a: 身近な事柄（技術革新、宇宙など）について話された説明の内容を捉える技能を身に付けている。 b: 身近な事柄（技術革新、宇宙など）について話された説明を聞き、必要な情報、概要、要点を捉えている。 c: 身近な事柄（技術革新、宇宙など）について話された説明を聞き、必要な情報、概要、要点を捉えようとしている。	定期考査 授業内活動 小テスト 提出物
		読むこと	a: what を用いた強調、複合関係副詞の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 身近な事柄（技術革新、宇宙など）について書かれた文章を読んで、要点を捉えている。 c: 身近な事柄（技術革新、宇宙など）について書かれた文章を読んで、要点を捉えようとしている。	

		話すこと （やり取り）	a: 相手の意見に同意したり反対したりする表現を理解している。 b: 携帯電話の機能や問題点について、短い文や簡単な表現を用いて自分の考えや気持ちを伝え合うやり取りを続けている。 c: 携帯電話の機能や問題点について、短い文や簡単な表現を用いて自分の考えや気持ちを伝え合うやり取りを続けようとしている。	
	Write to the Point 15 章-18 章	書くこと	a: 目標となる文法事項等(※)に関する知識を身につけている。 b: 目標となる文法事項等(※)に関する表現を用いている。 c: 目標となる文法事項等(※)に関する表現を用いようとしている。 以下、(※) 譲歩の表現（「たとえ～でも」「どんなに～でも」） 重要表現（1） （「似ている」「違う」など） 重要表現（2）it を用いる表現 「A は…だ」 および既習の重要事項の確認	
	学年末考査			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度